

## 東京モーターショーでの展示内容について

## 1. 目的

本格的な高齢化社会を迎え、高齢者・障害者等の円滑な移動手段としてバス・タクシーの重要性が高まっている中、地域のニーズに応じ、低コストのバリアフリー車両の実現を図るべく、「地域のニーズに応じたバス・タクシーに係るバリアフリー車両の開発」事業を行っている。

東京モーターショーは、前回来場者数は 142 万人、また国内外報道機関も 14,300 人であり、今回も多くの人々が来場が予想される中、本事業による取組やユニバーサルデザインタクシーや乗合タクシー等の車両自体について広く周知を図る。また、来場者に対し開発する車両等について意見などを聴取し、今後の更なる改良に向けフィードバックを図ることとする。

## 2. 展示及び調査

## (1) 路線バス

平成 20 年度にニーズ調査及び標準仕様に対する要望調査に基づいて作成した改良イメージ図をパネルで展示する。また、ブース来場者に対しアンケート調査を実施し、改良イメージ図の妥当性の向上を図る。展示パネルについてはワーキング等の関係者によって検討した。

## (2) 乗合いタクシー

平成 20 年度に作成した試作車両の外観や改造点などに関する写真をパネルで展示する。また、利用者等から意見を収集し、標準仕様案の妥当性の検証や課題の抽出を行う。展示パネルについてはワーキング等の関係者によって検討した。

## (3) 一般ユニバーサルデザインタクシー

平成 20 年度にガイドラインに則って試作されたモックアップ等の写真のパネル、及び実車を展示する。また、ブース来場者に対しアンケート調査を実施し、車両イメージやガイドラインの見直しに資することとする。また、展示車両に試乗頂いた車いす使用者に対しては、寸法の計測の協力を依頼する。写真パネル及び実車のレイアウトについてはワーキング等の関係者によって検討した。

### 3. アンケート

路線バスと乗合タクシーについては、普段これらを利用されている方や利用されたことがある方に対して、不便や不満を感じている点について自由に記述して頂くようにした。合わせて、ブースの展示についての意見や感想も記入して頂くようにした。

一般ユニバーサルデザインタクシーについては、車いす使用者と介助者、及び健常者を分けてアンケートを実施する。それぞれについて性別、年齢などの情報に加え、介護・福祉タクシー（福祉移送サービスを含む）の利用状況や不満な点に関する質問を設定した。展示する試作車両やパネル等については、平成 20 年度に作成した標準仕様案に係わる質問を設定した。また、従来の介護・福祉タクシー（福祉移送サービスを含む）やセダン型タクシーと比較した質問（良い点・悪い点、使いたいかどうか等）を設定した。